

SoftBank Vision Fundの会計処理概要

2017年9月1日

ソフトバンクグループ株式会社



免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

本資料中の設例等におけるすべての条件、金額などは実際の契約に基づくものではなく、**実際の金額、比率を示すものではありません。**

アジェンダ

- 会計処理 -

1. 総論

- 1) ファンド構成事業体に対する会計処理
- 2) 投資先(ポートフォリオ)に対する会計処理
- 3) 外部投資家持分の会計処理
- 4) SBG連結 BS・PL・CF・セグメントサマリー

2. 各論 (設例)

- 1) SBG持分および外部投資家持分
- 2) 投資の会計処理と表示

アジェンダ

- Appendix -

- 1) IFRS上の投資企業の定義
- 2) 投資(子会社以外)の会計処理と表示
 - i. 原則
 - ii. ブリッジ投資の取り扱い
- 3) 投資先データ
- 4) 投資(株式)の評価方法

— 会計処理 —

1. 総論

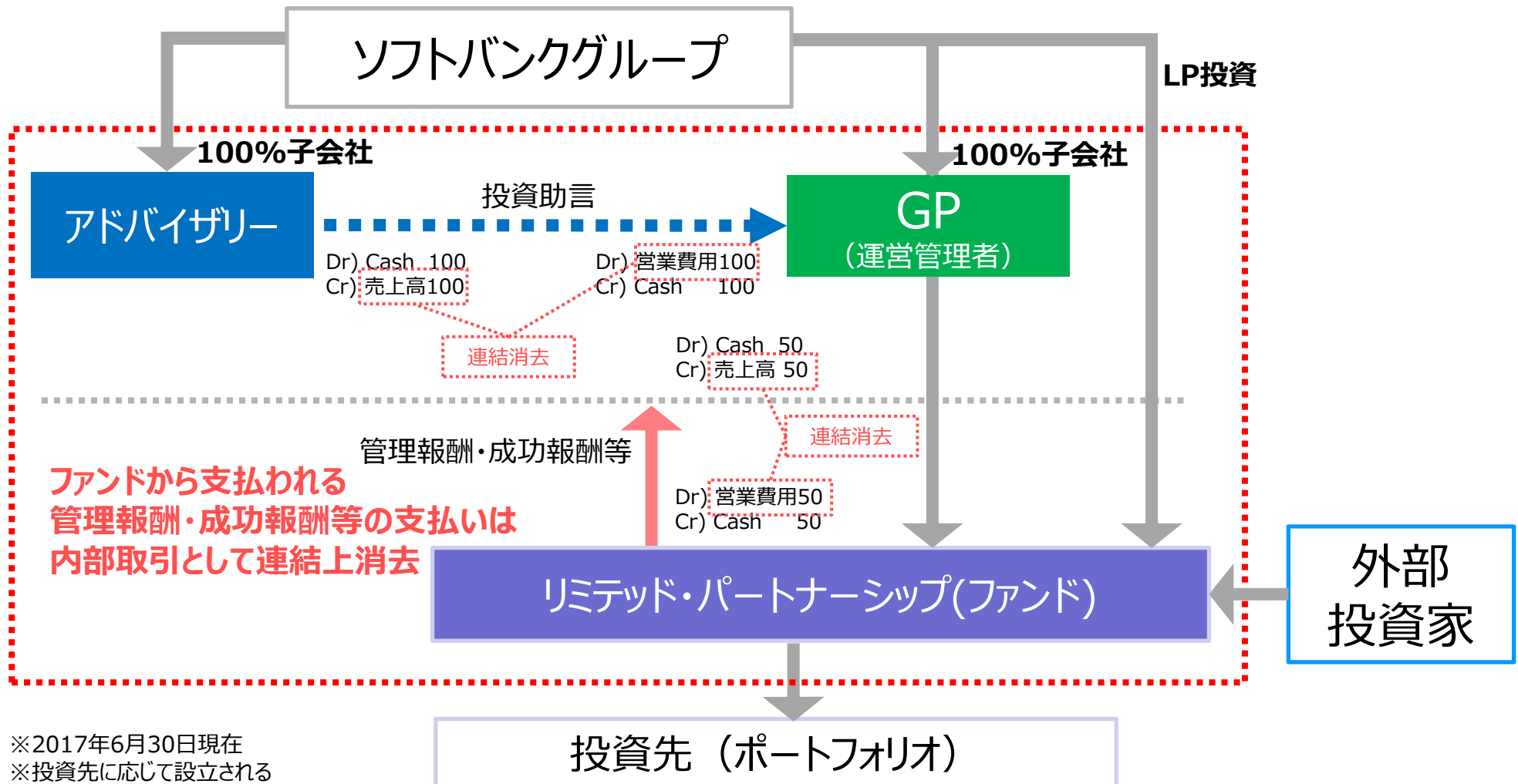
- 1) ファンド構成事業体に対する会計処理
- 2) 投資先(ポートフォリオ)に対する会計処理
- 3) 外部投資家持分の会計処理
- 4) SBG連結 BS・PL・CF・セグメントサマリー

2. 各論 (設例)

- 1) SBG持分および外部投資家持分
- 2) 投資の会計処理と表示

1) ファンド構成事業体に対する会計処理

SoftBank Vision Fund (SVF) は、リミテッド・パートナーシップ (ファンド)、GP、アドバイザリー会社、投資先に応じて新設された持株会社で構成。SVFを構成する事業体は、全てSBGの連結対象。



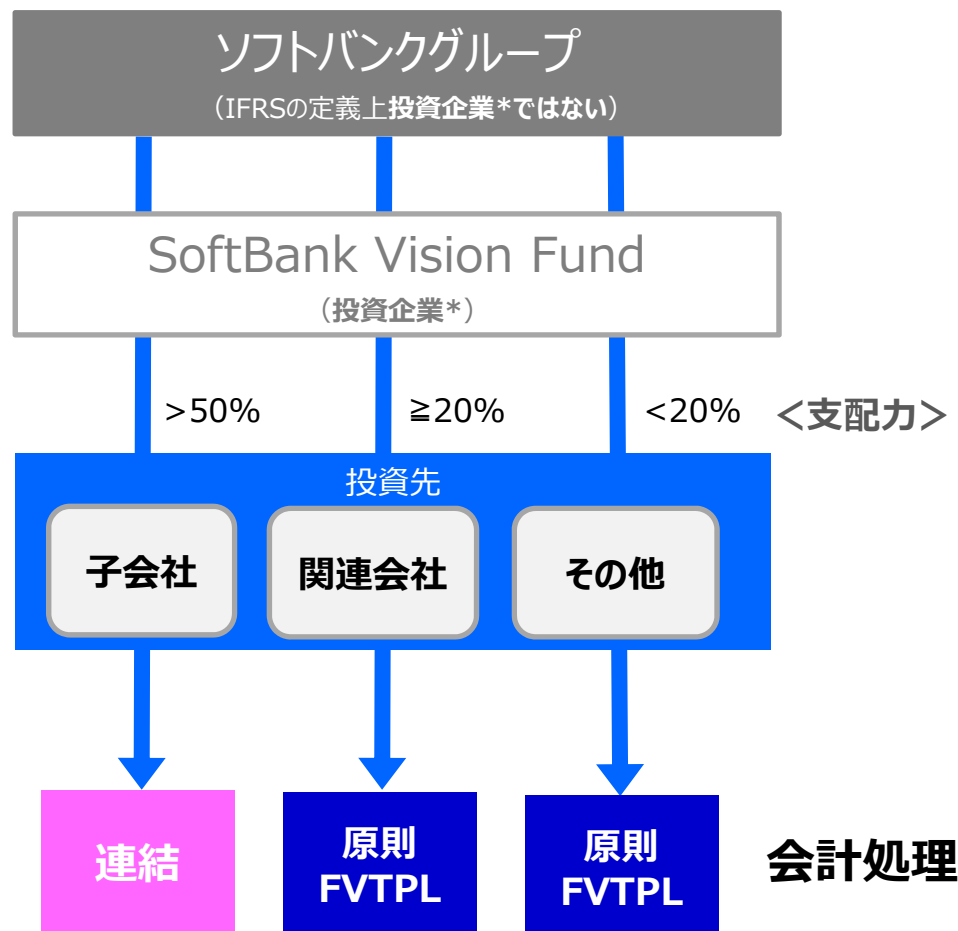
※2017年6月30日現在
 ※投資先に応じて設立される
 持株会社を除いて記載

2) 投資先(ポートフォリオ)に対する会計処理

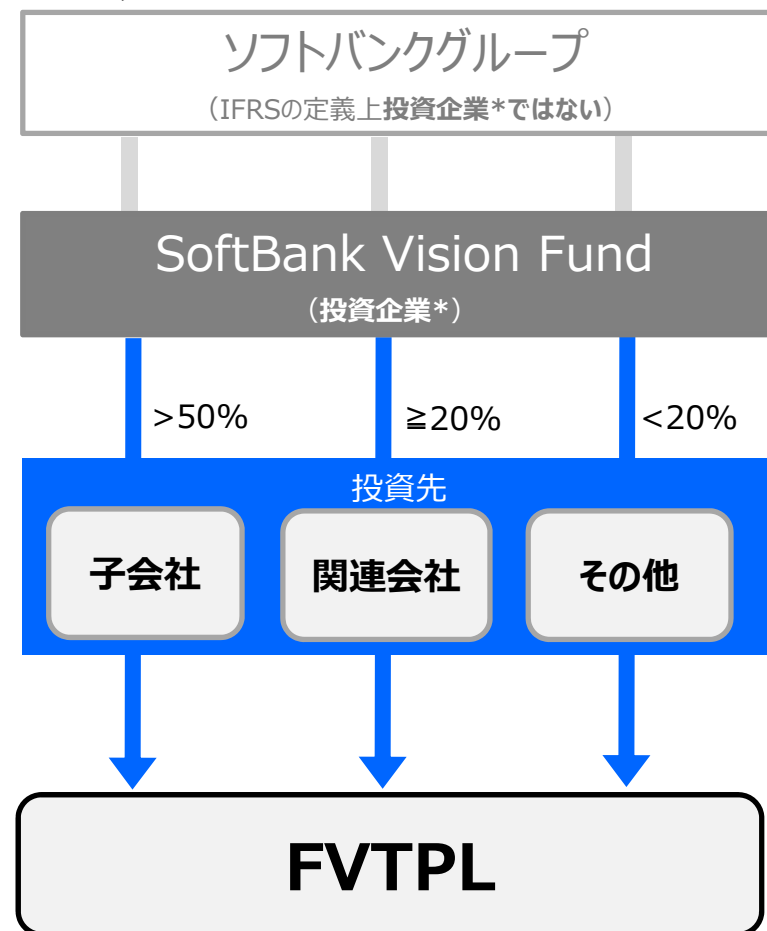
SBG連結上、子会社は連結、それ以外は原則FVTPLで処理

(*IFRS上の投資企業の定義は、Appendix 1)を参照)

<SBG連結>



<ファンド単体>



投資先の会計処理は、「2.各論(設例)2)投資の会計処理と表示」を参照

FVTPL (Fair Value Through Profit or Loss) : 資産・負債を期末時点の公正価値で評価し当該増減をPLに計上する方法

3) 外部投資家持分の会計処理

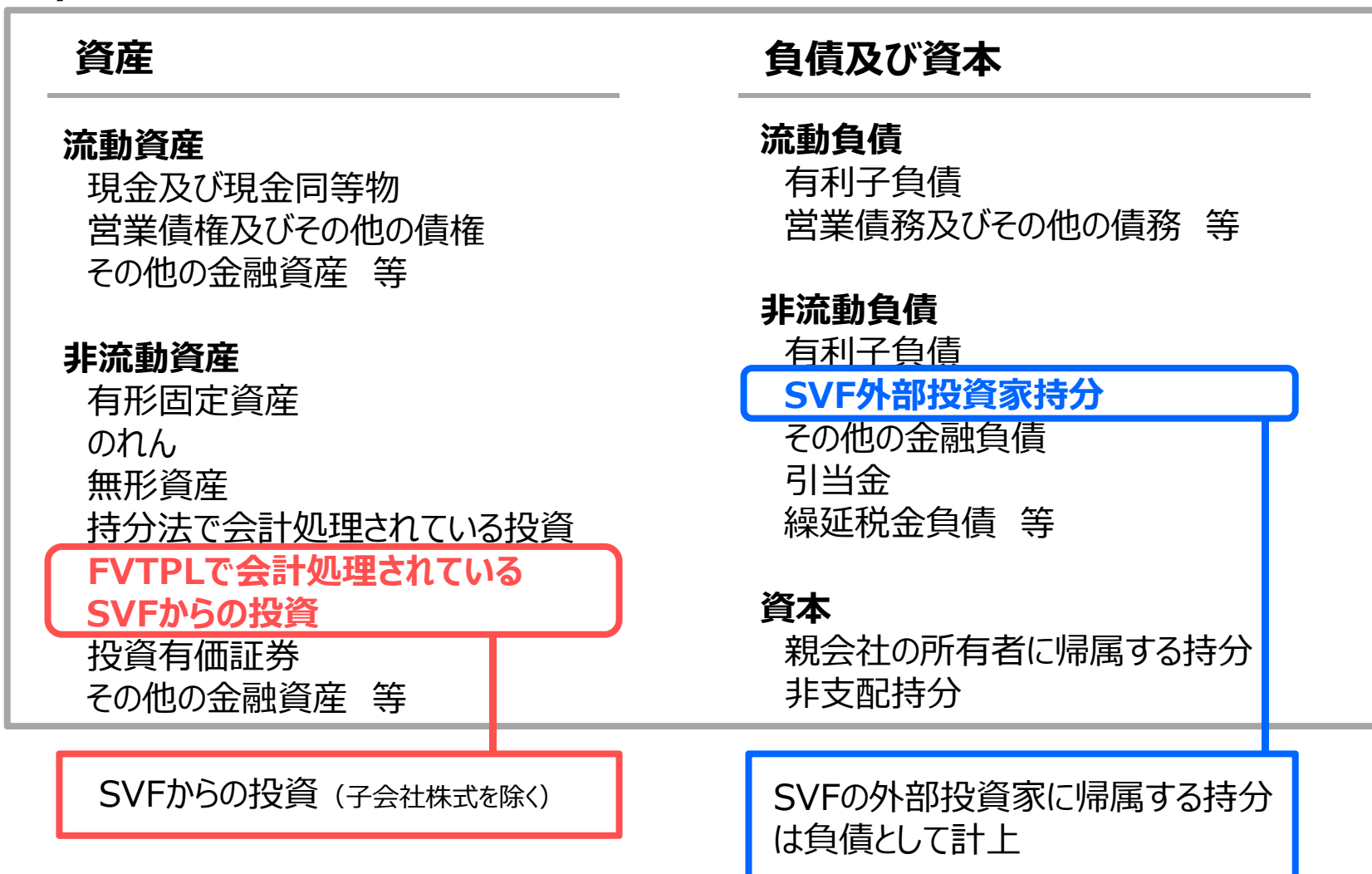
外部投資家持分は負債

ファンド期間は有限
投資家への分配義務あり

外部投資家の持分は
「負債」として計上

ファンドへの投資
のタイプは2つ
成果分配型
固定分配型

B/S (投資先が子会社の場合を除く)



P/L (投資先が子会社の場合を除く)

売上高

売上原価

売上総利益

販管費

営業利益 (SVF除く)

SVF営業利益

営業利益

財務費用(支払利息)

持分法投資損益

SVF外部投資家持分の増減額

その他の営業外損益

税引前利益

法人所得税

純利益

純利益の帰属

親会社の所有者

非支配持分

[投資損益]

- 投資の売却による実現損益
- 投資の未実現評価損益
- 投資先からの利息配当収益
(子会社株式に対する投資損益を除く)

[営業費用]

- SVFを構成する事業体の設立費用
- GPおよびアドバイザー会社等で発生した取引調査費用
- 各社で発生した管理費用など

SVF営業利益のうち、外部投資家持分の増減

C/F (投資先が子会社の場合を除く)

営業活動によるキャッシュ・フロー

純利益

減価償却費

SVF投資損益

SVF外部投資家持分の増減額 他

小計

利息及び配当金の受取額

利息の支払額

投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得による支出

SVFによる投資の取得による支出
SVFによる投資の売却による収入 他

財務活動によるキャッシュ・フロー

有利子負債の収入

有利子負債の支出

SVF外部投資家からの払込による収入
SVF外部投資家に対する分配・償還額 他

現金及び現金同等物の増減額

現金及び現金同等物の期首残高

現金及び現金同等物の期末残高

SVFからの投資と処分に関する収支

外部投資家に関する収支 (払込・償還・分配等)

4) SBG連結 BS・PL・CF・セグメントサマリー -4

セグメント情報（投資先が子会社の場合を除く）

	国内通信 事業	...	SVF 事業	その他	調整額	連結
売上高	XXX	...	-	XXX	XXX	XXX
セグメント利益	XXX	...	XXX	XXX	XXX	XXX
EBITDA	XXX	...	XXX	XXX	XXX	XXX
SVF事業における投資の 未実現評価損益	-	...	△XXX	XXX	XXX	XXX
調整後EBITDA	XXX	...	XXX	XXX	XXX	XXX

= SVF営業利益

= 売却による**実現**損益+投資先からの利息配当収益 - 営業費用

未実現損益を控除

1. 総論

- 1) ファンド構成事業体に対する会計処理
- 2) 投資先(ポートフォリオ)に対する会計処理
- 3) 外部投資家持分の会計処理
- 4) SBG連結 BS・PL・CF・セグメントサマリー

2. 各論 (設例)

- 1) SBG持分および外部投資家持分
- 2) 投資の会計処理と表示

1) SBG持分および外部投資家持分 -1

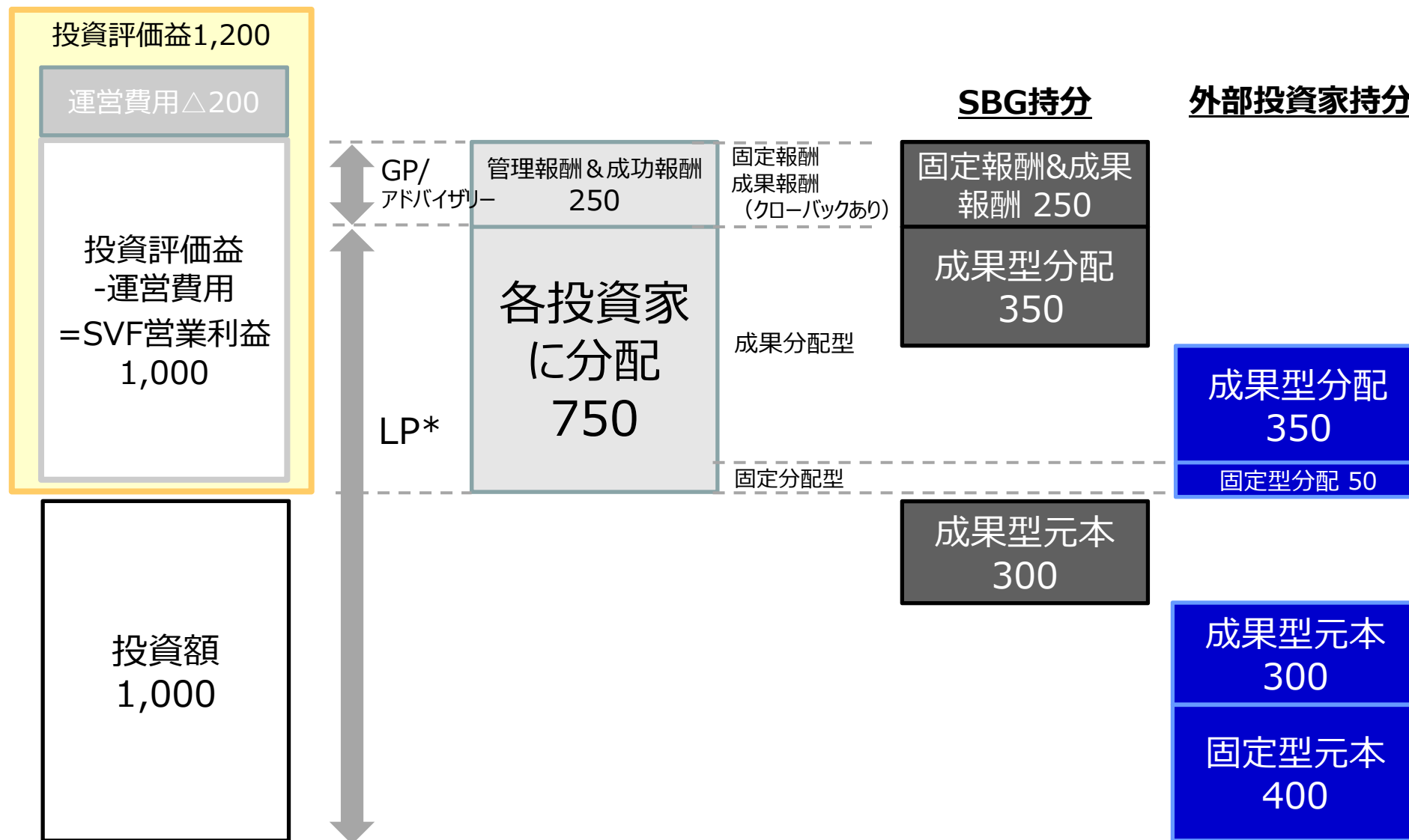
P.15、16の設例において下記を前提条件とする。

- ファンドのキャピタル・コール 1,000
SBG（成果分配型）=300 外部投資家（成果分配型）=300 外部投資家（固定分配型）=400
- ファンドからの投資 1,000
- 投資の当期末公正価値 2,200（評価益1,200）
- ファンドの運営費用 200
- ファンドからGP/アドバイザーへの管理報酬&成功報酬 250
- 固定分配型の当期分配額 50
- 成果分配型の配分割合 SBG：外部=1：1

※上記の条件、金額などはすべて**任意の設定**を元に記載

1) SBG持分および外部投資家持分 -2

SBG持分および外部投資家持分への分配の流れ



*LP : リミテッド・パートナーシップ

1) SBG持分および外部投資家持分 -3

前頁分配の流れをPLイメージで表示 (前提：投資先はすべて子会社以外)

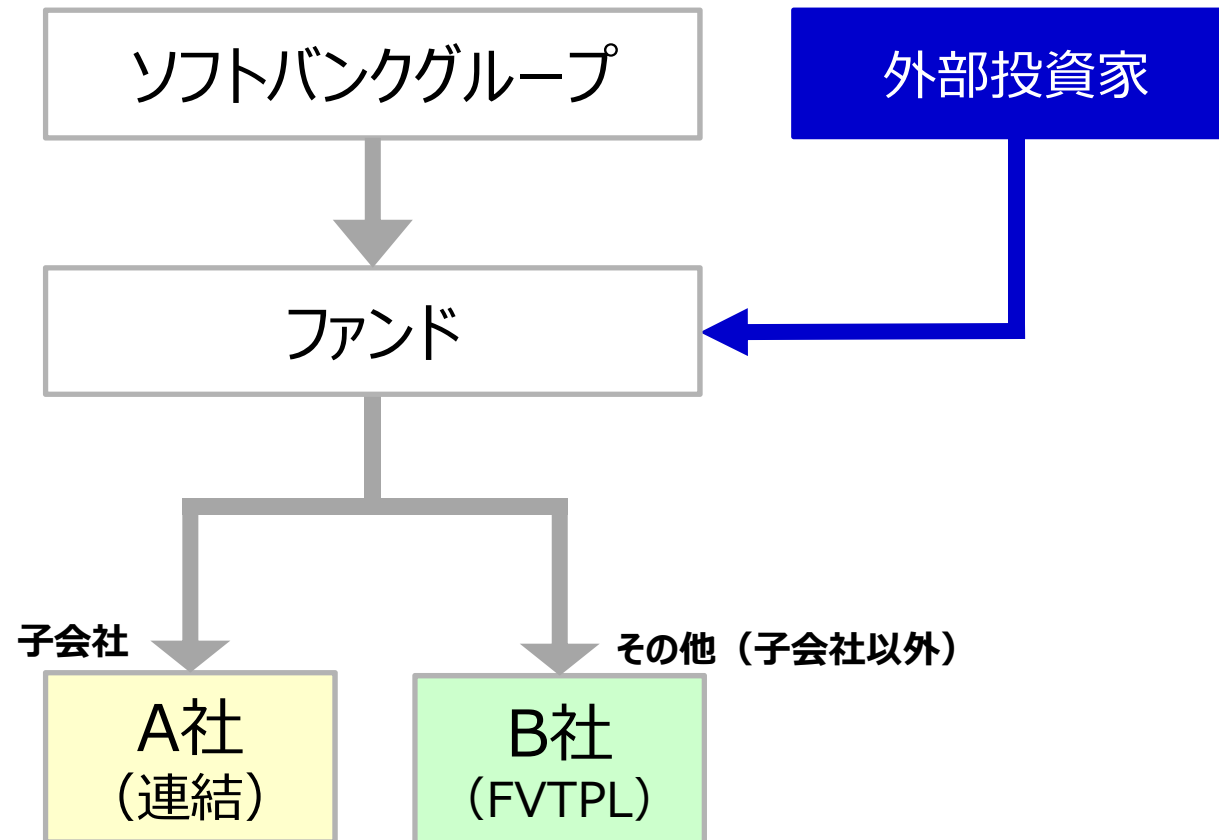
SVF			SBG連結			
科目および内容		LP (ファンド)	GP/ アドバイザリー	連結 調整	SBG 連結	表示科目
売上高	投資評価益	+1,200	-		-	-
売上高	管理報酬 & 成功報酬	-	+250	-250	-	-
営業費用	ファンドの運営費用	-200	-		-	-
営業費用	管理報酬 & 成功報酬	-250	-	+250	-	-
営業利益		+750	+250	-	+1,000	SVF営業利益
営業外費用		-	-	-400	-400	SVF外部投資家持分の増減額
純利益	*上記以外の収益・費用は省略	+750	+250	-400	+600	純利益
純利益の 帰属者	SBG (成果型分配)	+350	+250	=	+600	
	外部投資家 (成果分配型)	+350				
	外部投資家 (固定分配型)	+50				

① ファンドからGP/アドバイザリーへの管理報酬&成功報酬は内部取引のため連結消去

② ファンドの純利益750のうち外部投資家に帰属する400をSBG連結上、営業外費用で計上

2) 投資の会計処理と表示 -1

(前提) ファンドの投資先と資本関係



2) 投資の会計処理と表示 -2

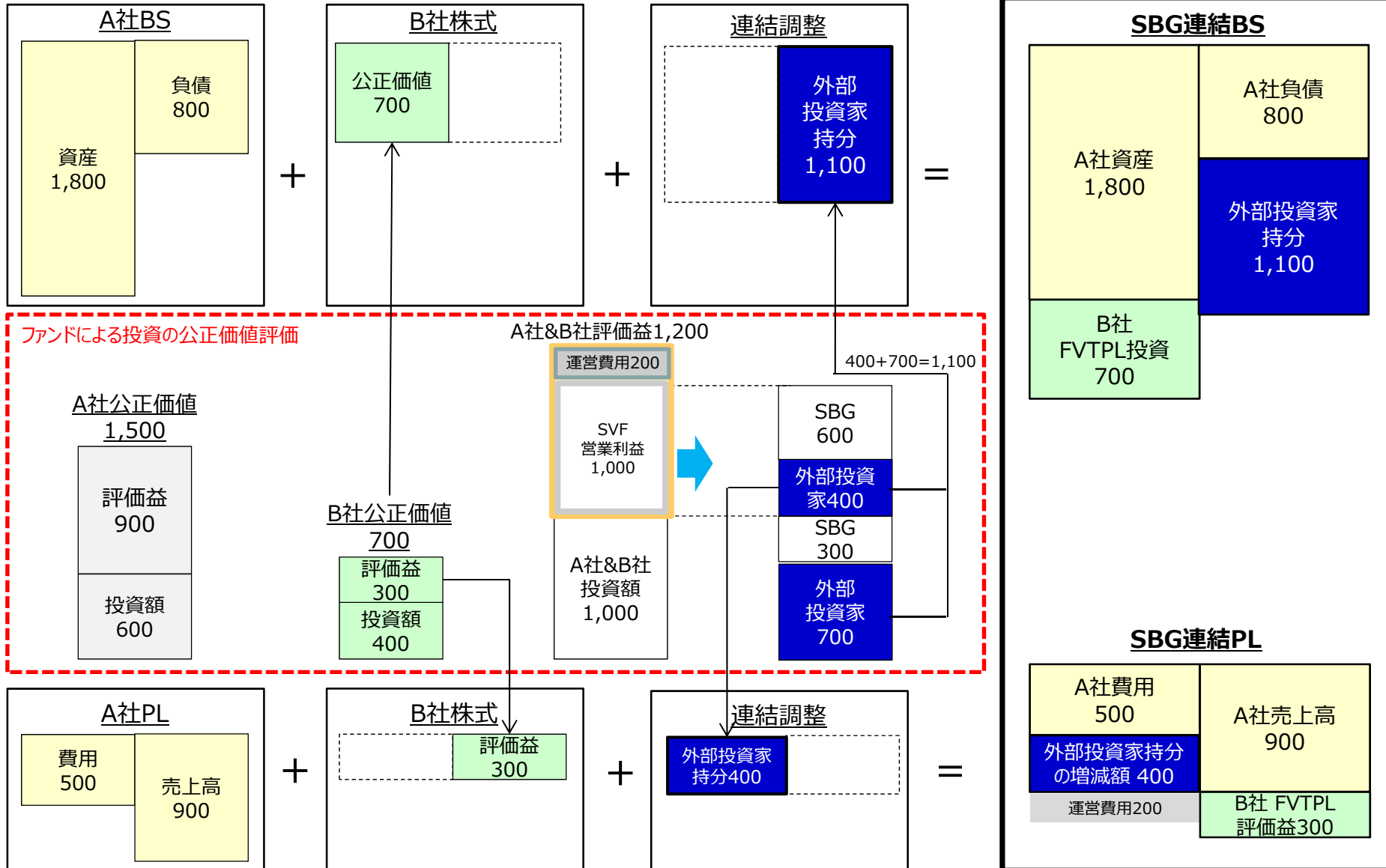
P.19、20の設例において下記を前提条件とする。 (**A社=子会社、B社=子会社以外**)

- ファンドのキャピタル・コール 1,000
SBG (成果分配型) =300 外部投資家 (成果分配型) =300 外部投資家 (固定分配型) =400
- ファンドからの投資 1,000
A社 (子会社) =600 B社 (その他 (子会社以外)) =400
- 投資の当期末公正価値 2,200 (評価益1,200)
A社=1,500 (評価益900) B社=700 (評価益300)
- ファンドの運営費用 200
- ファンドからGP/アドバイザーへの管理報酬&成功報酬 250
- 固定分配型の当期分配額 50
- 成果分配型の配分割合 SBG : 外部=1 : 1
- **A社のB/S 資産1,800 負債800**
- **A社のP/L 売上高900 営業費用500 (その他に収益・費用ゼロ)**

※上記の条件、金額などはすべて**任意の設定**を元に記載。

2) 投資の会計処理と表示 -3

ファンド投資先のSBG連結までの流れ



2) 投資の会計処理と表示 -4

セグメント情報では、FVTPL損益をSVF事業に計上 & 調整額で消去

■ 設例 与件

A社（子会社）の売上高900、営業費用500（売上原価300、販管費200）、
 ファンドによるFVTPL評価益はA社900、B社（子会社以外）300、
 ファンド運営費用200（その他に収益・費用なし）

セグメント	SVF事業	その他	調整額	連結
売上高	-	900	-	900
セグメント利益	1,000	400	△900	500

連結P/L	
売上高	900
売上原価	△300
売上総利益	600
販管費	△200
営業利益（SVF除く）	400
SVF営業利益	100
営業利益	500
SVF外部投資家持分の増減額	△400
.....	
税引前利益	
.....	
純利益	

A社(子会社) 評価益	+900
B社(子会社以外) 評価益	+300
運営費用	△200
SVF営業利益	+1,000

A社の業績

A社(子会社)の評価益が消去され、B社(子会社以外)の評価益と運営費用が残る

ファンドによるA社(子会社)評価益を消去

2) 投資の会計処理と表示 -5

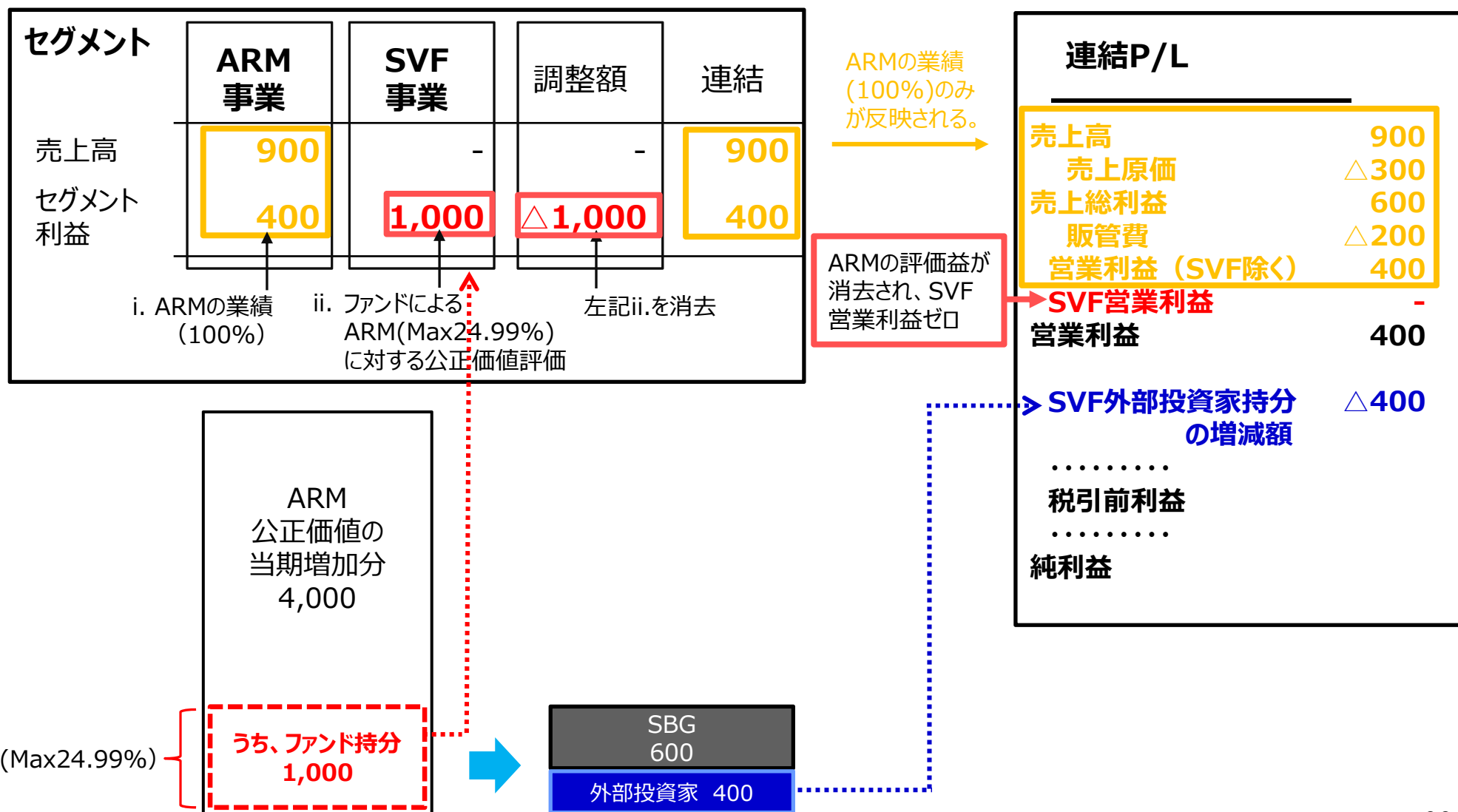
P.22の設例において下記を前提条件とする。

- ファンドからの投資はARM（子会社）のみ、ARM以外にSBGの子会社なし
- ARM全株式に対する公正価値測定による評価益4,000
うち、ファンド持分約24.99%相当: $4,000 \times \text{約}24.99\% = 1,000$
- ファンドの運営費用なし（単純化のため）
- ファンドからGP/アドバイザリーへの管理報酬&成功報酬 250
- 固定分配型の当期分配額 50
- 成果分配型の配分割合 SBG:外部=1:1
- ARMのP/L 売上高900 営業費用500（売上原価300、販管費200）その他に収益・費用なし

※上記の条件、金額などはすべて**任意の設定**を元に記載。

2) 投資の会計処理と表示 -6

ARM(Max24.99%)FVTPL損益はSVF事業で計上 & 調整額で消去



– Appendix –

1) IFRS上の投資企業の定義

■ IFRS上の**投資企業**の定義

IFRS10 27 (抜粋)

投資企業は、次のすべてに該当する企業である。

- a. 投資者から、当該投資者に投資管理サービスを提供する目的で資金を得ている。
- b. 投資者に対して、自らの事業目的は資本増価、投資収益、又はその両方からのリターンのためだけに資金を投資することであると確約している。
- c. 投資のほとんどすべての測定及び業績評価を公正価値ベースで行っている。

■ **投資企業の親会社**の子会社に対する会計処理

IFRS10 33 (抜粋)

投資企業の親会社は、投資企業である子会社を通じて支配している企業を含めて、**支配しているすべての企業を連結**しなければならない。ただし、親会社自身が投資企業である場合を除く。

2) 投資（子会社以外）の会計処理と表示 -1

SVFによる投資は、SVF外による投資とは区別して表示

i. 原則

有価証券の取得方法	会計処理（PL表示）	BS資産表示
a. SVFによる投資	FVTPL (SVF営業利益)	FVTPLで会計処理されている SVFからの投資
b. SVF外による投資	持分法 投資損益 or FVTPL (営業外損益) or FVTOCI	投資有価証券

■ 設例 当期B社株式を400で購入、当期中にFVTPL損益300計上、当期末帳簿価額700

有価証券の取得方法	BS		PL		CF	
a. SVFによる投資	FVTPLで会計処理 されているSVFからの投資	700	SVF営業利益	300	SVFによる投資の 取得による支出	400
b. SVF外による投資	投資有価証券	700	営業外損益 (FVTPL損益)	300	投資の取得による 支出	400

2) 投資（子会社以外）の会計処理と表示 -2

ブリッジ投資については、移管の決定有無で表示が異なる

ii. ブリッジ投資（SVFに投資を推薦するためSBGにより予め購入される投資）の取り扱い

有価証券の取得方法	会計処理（PL表示）	BS資産表示
a. SVFによる投資	FVTPL (SVF営業利益)	FVTPLで会計処理されている SVFからの投資
a'. SBGによるブリッジ投資 (移管決定)		
a''. SBGによるブリッジ投資 (SVFへ推薦予定)	FVTPL (営業外損益)	投資有価証券
b. SVF外による投資	持分法 投資損益 or FVTPL (営業外損益) or FVTOCI	

■ 設例 当期B社株式を400で購入、当期中にFVTPL損益300計上、当期末帳簿価額700

有価証券の取得方法	BS		PL		CF	
a. SVFによる投資	FVTPLで会計処理されて いるSVFからの投資	700	SVF営業利益	300	SVFによる投資の 取得による支出	400
a'. SBGによるブリッジ投資 (移管決定)						
a''. SBGによるブリッジ投資 (SVFへ推薦予定)	投資有価証券	700	営業外損益 (FVTPL損益)	300	投資の取得による 支出	400
b. SVF外による投資						

3) 投資先データ

各投資先の取得価額と公正価値

(単位：米ドル)

投資先	保有するL.P.	取得価額	公正価値 (2017年6月末)
NVIDIA	SVF L.P.	2.8B	3.9B
Guardant	AIV M1 L.P.	0.1B	0.1B
その他		0.3B	0.3B
合計		3.2B	4.3B

4) 投資(株式)の評価方法

一般的な評価方法を採用

金融商品 公正価値の算定方法

【活発な市場における同一銘柄の相場価格が入手できる場合】

当該相場価格

【活発な市場における同一銘柄の相場価格が入手できない場合】

■ 直近の独立した第三者間取引やファイナンス価格の情報が利用可能な場合

取引事例法

■ 直近の取引情報が利用できない場合

・評価対象会社と比較可能な上場類似会社の情報が利用可能な場合

マーケット・アプローチ

・信頼できるキャッシュ・フロー計画が利用できる場合

インカム・アプローチ

